

## 平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
パ	細			H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	
1		名護市特色ある教育環境整備事業	H24～H33					
	①	学習指導支援者配置事業	H24～H33	児童生徒の学力向上のために、学習指導支援者を配置し、授業にあたる教師と連携を図りながら児童生徒の支援を行うことで教育環境の充実を図る。	学習指導支援者配置数 小学校：7人	支援児童数(小学校4校の3・4年生)：789人	(今後の展開方針) ・学習指導支援者の効果的配置の検討	
	②	生徒指導支援者配置事業	H24～H33	個別の指導や相談を必要とする不登校児童生徒に対応するため、教職員を補佐し、継続的な支援活動や様々な体験活動を通じた個別指導を行う生徒指導支援者を小・中学校へ配置し、児童生徒の自己存在感を育み、自立するための支援体制を構築することで教育環境を充実させ、基礎学力等の向上を図る。	生徒指導支援者配置数 中学校：6人	当該事業でサポートした児童生徒のうち、学校復帰など改善がみられた人数：10人	(今後の展開方針) ・生徒指導支援者の効果的配置の検討	
	③	小中学校英語支援員配置事業	H24～H33	小・中学校の英語を中心とした外国語活動の授業における指導補助、教材作成や英語スピーチコンテスト等の指導補助として、各小・中学校に小中学校英語支援員を配置することで教育環境の充実を図り、児童生徒の国際理解やコミュニケーション能力、基礎学力等の向上に繋げる。	英語支援員の配置数：9人	支援児童数(小学校)：1,342人 支援生徒数(中学校)：2,210人 計：3,552人	(今後の展開方針) ・小中学校英語支援員の効果的配置の検討	
	④	中学生海外短期留学派遣事業	H24～H33	小さな世界都市をめざす本市の中学生を英語圏に短期間派遣し、英語を学ぶことへの関心・意欲を高め、視野を広げるとともに国際感覚豊かな人材育成を目指す。	応募人数：8校×5人＝40人 派遣生徒選考人数：12人	海外短期留学派遣生徒数：12人 派遣後のフォローアップ ・帰国報告会での発表 ・在籍中学校及び中学校区学推での発表 ・帰国報告書の作成	(今後の展開方針) ・海外短期留学派遣生徒数(累計) H33年度120人 ・現地学習プログラムの充実	
	⑤	適応指導教室支援員配置事業	H24～H33	適応指導教室に支援員を配置し、不登校児童生徒の個々の状況に応じた体験活動や学習指導、教育相談等の支援活動を行うとともに、人間関係の改善と児童生徒の自立心を高め、社会性を身につけさせることで、学校生活への適応を図り、学校復帰を支援する。	適応指導教室支援員配置数：5人	当該事業でサポートした児童生徒のうち、学校生活への適応や学校復帰等の面で改善がみられた人数：7人	(今後の展開方針) ・適応指導教室支援員の効果的な配置の検討	
	⑥	名護市児童生徒等の県外派遣等に関する補助金交付事業	H24～H33	小・中学校の児童生徒等や県立高等学校及び高等専門学校の生徒が、県外で開催される運動競技会又は文化関係大会に参加する際の派遣費用を補助する。	大会派遣生徒数：80人	大会派遣生徒数 H26年度：80人	(今後の展開方針) 大会等派遣生徒数(累計) H33年度：800人	

H26活動目標(指標)：平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたもの。

H26成果目標(指標)：平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

## 平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
パ	細			H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	
	⑦	小中一貫教育推進事業	H26～H33	小中一貫教育校の開校を目指して取り組んでいる屋我地域において、児童生徒の学力向上、小中学校の教育課程の研究や小中連携を図るための非常勤講師を配置する。	非常勤講師の配置数:2人	教育課程研究報告書を作成し、児童生徒学力向上に向けた取り組みの検討へつなげる	(今後の展開方針) 平成28年度より、教育課程研究報告書に基づく授業の展開	
2		名護市地場産業の活性化及び6次産業推進事業	H24～H27					
	①	名護市堆肥センター機能高度化施設整備事業	H25～H27	堆肥の活用による田畑の土づくりや、家畜の糞尿処理などの環境保全により、畜産業等と地域の調和を保ち農産物の生産向上に寄与する名護市堆肥センターを整備する。	堆肥工場の建築及び造成工事、ならびに備品購入の実施	堆肥工場の整備及び備品購入の完了	(今後の展開方針) H28年度:名護市堆肥センターの供用開始 堆肥生産目標:3,395トン	
	②	農産物6次産業化支援拠点施設整備事業(アグリパーク)	H24～H26	名護市の農家所得の減少、就農者数の減少、農産物全体の粗生産額の著しい低下等の課題解決を目的に、6次産業化と観光とを融合したアグリパークを整備する。	レストラン施設・観光農園・エントランス敷地造成設計、建築設計及び建築・造成工事の実施	レストラン施設・観光農園施設・エントランス整備の完了	(今後の展開方針) H27年度:アグリパーク全体の供用開始 入場客目標:30万人	
3		名護市地域資源と地域特性を生かした観光基盤整備事業	H24～H33					
	①	ファイターズ・キャンプ支援事業	H24～H33	北海道日本ハムファイターズのキャンプ期間中における、駐車場の確保、球場までのシャトルバスの運行、球場周辺等に警備員・誘導員を配置し、見学者並びに車両を安全スムーズに誘導する。また、人気球団である日本ハムファイターズと連携したイベント「沖縄へ行こう!!名護デー」を札幌ドームで開催し、札幌より観光客誘客を図る。	・プロ野球キャンプ見学者等の誘導・安全確保及び見学者の誘致。 ・札幌ドームで「名護デー」開催	プロ野球キャンプ見学者数 H26年度:24,000人 (H25年度目標:20,000人) (H24年度実績:17,799人)	(今後の展開方針) H27～33年度: ・駐車場確保 ・シャトルバス運行 ・警備員、誘導員配置 H27～28年度: ・「名護デー」開催 H27～28年度: ・少年野球チーム交流	
	②	名護市特産品販路拡大支援事業	H25～H27	特産品の販路拡大のため、商品改良(品質表示、加工技術等)、商談会、展示会、販路開拓を実施し、地場産業の育成と観光産業の活性化を図っていく	ワークショップ開催:15回 物産展の開催:3回	物産展の来場者数:2,550人 物産展の売上高:2,550千円	(今後の展開方針) H27年度:商品改良(品質表示等)、名護市フェア、物産展等の開催等	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

## 平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

名護市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考		
事業番号	パ			細	H26事業内容		H26活動目標(指標)	今後の展開方針等	
③		観光情報発信事業	H25～H27	観光地としてのコンセプトを明確に打ち出した観光宣伝ツールの作成、広告宣伝(マスメディア、イベント等)、セールス誘致活動を行い観光情報発信力を強化し観光客の誘致拡大を目指す。 また地元で撮影された映画を活用し、映画・映像の追体験を促す広報宣伝を国内の映画館等で実施する。	観光宣伝物の作成 ①映像DVD(春・夏版) セールス活動 ②旅行見本市(ツーリズムエキスポ)  広告 ③ガイドブックへの広告掲載	観光宣伝物の作成 ①映像DVD(春・夏版)セールス: 100枚 ②旅行見本市(ツーリズムエキスポ) ブース来場者数1,000名  広告 ③ガイドブックへの広告掲載 発行部数90,000部	(今後の展開方針) H27年度:旅行見本市(国内・国外)、マスメディア広告		
④		真喜屋運動広場整備事業	H24～H27	真喜屋運動広場において様々なスポーツが快適かつ安全に行えるよう拡張整備を実施し、スポーツコンベンションの開催や、合宿利用等にも対応できるよう多目的広場としての利用環境を改善する。	真喜屋運動広場整備に係る実施設計の実施(真喜屋運動広場)	真喜屋運動広場整備に係る実施設計完了	(今後の展開方針) H27年度:整備工事 H28年度:供用開始 利用者数目標:13千人		
⑤		名護市営市場機能強化整備事業	H25～H26	観光施設としての機能を強化することにより、名護中心市街地の「にぎわい」回復に資するため、イベント対応天幕、周辺商店街への連絡通路、大型モニター等の整備を実施し、市営市場及び観光施策が抱える課題の解決を図る。	整備工事(1件)の実施 ・雨除け通路 ・パティオ屋根 ・前広場雨除け ・植栽 等	整備工事(1件)の完了 ・雨除け通路の設置 ・パティオ屋根の設置 ・前広場雨除けの設置 ・植栽の実施 等	(今後の展開方針) ・観光情報等の発信 ・買物広場等の利用促進(イベント開催等)  整備後の市場来場者見込み(駐車台数) H23:71千台→H27:100千台		
⑥		名護市ICT活用モデル事業「WiFi化計画」	H25～H28	名護市役所周辺に無料公衆無線LAN環境を構築し、名護市の情報配信など、ICTを活用し、外国人を含む観光客等の来訪者への対応、まちあるき観光等の情報発信を促進するモデル事業を実施する。	名護市役所周辺の無料公衆無線LAN環境構築	無線LANサービスの開始:AP1カ所以上	(今後の展開方針) 市街地周辺のWiFi化整備、サービス開始		
⑦		津嘉山酒造所施設公開活用推進事業	H26	国指定重要文化財である津嘉山酒造所は、沖縄に唯一残る戦前の木造泡盛工場であり、沖縄県を代表する文化施設である。まちなか観光拠点として施設(便益施設、泡盛資料館、駐車場)の整備を行うため、酒造所敷地の一部を購入する。	・用地買収 1筆	・整備に必要な用地取得:100% (425㎡取得)	(今後の展開方針) H27・28年度:保存活用計画の策定 H28・29年度:まちなか観光の拠点施設整備(便益施設、泡盛資料館、駐車場) H30年度供用開始: 入場者目標:3.6千人		

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

## 平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

名護市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H26活動目標(指標)	今後の展開方針等			
パ	細							
	⑧	二見以北4小学校跡地等利用事業	H24～H26	閉校となった二見以北の小学校をウミガメ等の海洋生物の調査研究施設として活用するとともに、海洋生物や自然等の地域観光資源を生かした体験学習施設として活用するため、必要な環境整備を行う。	小学校跡利用に向けた環境整備(便益施設建築工事)	便益施設の建築	(今後の展開方針) H26年度:事業者による跡利用開始	
3	⑨	轟の滝周辺整備事業	H24～H28	貴重な文化財である轟の滝の豊かな自然環境を保全・活用し、魅力ある観光スポットとして、まちの活性化、観光振興に繋げるため、やすらぎと潤いある自然空間の実現に向けて整備する。	・用地買収 9筆 ・物件補償 1件 ・委託業務 1件(施設設計)	・整備に必要な用地取得:(累計:88%) (累計:7,113㎡取得) ・施設設計の完了	(今後の展開方針) H26～27年度:用地測量、用地買収、補償設計、物件補償 H27～28年度:周辺整備 H29年度:供用開始予定 県文化財指定の名勝地を自然・景観を活かした貴重な地域資源として効果的に活用する。	
3	⑩	陸上競技場機能強化事業	H26	県内レベル(沖縄県民体育大会等)の大会開催やスポーツコンベンションの誘致に向けて、更なる施設の機能向上を図るため、新たに必要が生じたフィニッシュレコーダー等の備品購入を実施する。	備品購入 1件	フィニッシュレコーダー等を設置することで、県外実業団や大学による合宿地及び平成27年度県民体育大会会場予定地として、陸上競技場の機能強化を図る。	(今後の展開方針) H27年度:供用開始予定 県内レベルの大会実施や冬季における県内外実業団や大学、トップアスリートの合宿等による施設利用に効果的に活用する。 H27年度:34,000人 (H25年度実績:32,100人)	
4		名護市行政区単位版ハザードマップ作成事業	H24～H26	暴風、豪雨、洪水、高潮、地震、津波、地すべり等の各種災害から市民等の被害を軽減するため行政区単位版ハザードマップを作成する。	行政区単位版ハザードマップ作成数:23区	行政区単位版ハザードマップ配付箇所数:55区 H24:5地区(9行政区)、H25:22地区(25行政区)、H26:21地区(21行政区)	(今後の展開方針) 危険箇所周知、防災訓練等での活用	
5		名護市自転車まちづくり推進事業	H24～H27	温室効果ガスの排出削減による低炭素社会の構築を目指し、良好な「環境」の創出に寄与する「自転車まちづくり」を推進するため、自転車のモデルレーン(自転車指導レーン)整備を実施する。	自転車レーンの整備:300m	自転車レーンの整備率:14% (整備目標:11,920m、H24整備:1,120m、H25整備:330m、H26整備目標:300m)	(今後の展開方針) H27年度:自転車モデルレーンの整備(620m) 整備率:19%	
6		名護市雇用創出・企業誘致促進事業	H24～H26					

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

## 平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
パ	細			H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	
	①	金融・情報特区企業招聘セミナー等広報イベント事業	H24～H26	金融・情報通信関連企業の立地による雇用創出や定住人口増加の基盤となるまちづくりや人材育成・就労支援等を効果的に推進するため、企業招聘セミナーなどの広報イベント・誘致活動を実施し、金融・情報関連企業の誘致を促進する。	金融・情報通信関連企業の経営者等の招致: 20人	金融・情報通信関連企業の経営者等の招致目標達成率: 80% (招致目標: 20人、H24招致: 15人、H25招致: 20人、H26年度目標: 20人)	(今後の展開方針) H27年度: 企業招聘セミナー開催、国内外での広報活動 経営者等の招致目標: 20人	
	②	金融・IT産業等基盤施設等機能強化事業	H25～H26	金融・情報関連企業が入居する施設(名護市マルチメディア館、みらい1号館、みらい3号館)に、無停電電源装置(UPS)の設置を実施し、台風等の災害時に停電が発生した際、自家発電機が稼働するまでの間、UPSから電気を供給することにより停電を無くし、企業の事業継続性を確保する。	無停電装置の設置工事の実施 (名護市マルチメディア館、みらい1号館、みらい3号館)	無停電装置の設置完了 (名護市マルチメディア館、みらい1号館、みらい3号館)	(今後の展開方針) H27年度以降: 企業誘致活動の取組促進 誘致目標: 10企業	
7		名護市沖縄関係戸籍の電算化事業	H24～H26	本市の臨時戸籍は、現在でも各種行政証明や戸籍訂正の資料として重要な役割をはたしているが、紙媒体による保存であるため劣化が著しい。今後も安定的かつ継続的な臨時戸籍に係るサービスを確保するため臨時戸籍の電算化を実施する。	・臨時戸籍の電算化実施 対象戸籍数 12,866戸籍	臨時戸籍の電算化率: 100%	(今後の展開方針等) システムの適切な運用、維持、管理	
8		名護市地域力発信交流拠点施設整備事業(運天原)	H25～H26	近年盛んな沖縄観光の目玉である「芸能」や「食」の発信・交流の拠点になるとともに、エイサー等の継承や特産品開発など、地域の産業・文化・生活を活性化・再生する拠点となる施設を整備する。	地域力発信交流拠点施設(運天原)の建築の実施	地域力発信交流拠点施設(運天原)の完成	(今後の展開方針) H27年度: 供用開始 特産品開発のための活用 伝統芸能等の継承のための活用	

H26活動目標(指標): 平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたもの。

H26成果目標(指標): 平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。